

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市清水駅東口駐車場 静岡市清水駅東口自転車等駐車場		
課名	交通政策課（都市計画事務所）		
指定管理者名	静岡市清水駅東口駐車場及び自転車等駐車場管理運営共同企業体		
指定期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和元年5月27日（月）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してくだ さい。	①委員長 大江 尚登（静岡商工会議所産業振興部次長） ②委員 大石 真裕（一般財団法人静岡経済研究所総務担当部長） ③委員 八木 清文（都市局都市計画部交通政策担当部長） ④委員 安本 弘樹（都市局都市計画部交通政策課長） ⑤委員 望月 崇弘（都市局都市計画部都市計画事務所長）		
評価点 （各委員平均点）	82.8点	評価	A・ B ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏ま えての施設所管課と しての意見	<p>平成27年度から現在までの指定期間において、大きなトラブルや事故もなく、施設の管理運営は適切に行われていると評価された。</p> <p>駐車場施設ということから、近隣施設との協力連携が重要となるが、指定管理者としてさまざまな方法で連携を図っていて、より収益増につながっている。</p> <p>これからの課題として、利用者サービス向上のための新たな取り組みや、近隣施設利用者の駐車場への誘導等があげられる。</p>		

総合評価結果総括表

施設の名称 [静岡県清水駅東口駐車場

静岡県清水駅東口自転車等駐車場]

課名[交通政策課(都市計画事務所)]

指定管理者名 [静岡県清水駅東口駐車場及び自転車等駐車場管理運営共同体]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認	【配点50点】					
(ア) 事業計画書等に表示された事業が予定どおり、円滑に実施された。【20】	17	15	16	16	16	16.0
(イ) 適正な能力を持った職員が適正な人数配置された。【10】	9	10	10	10	10	9.8
(ウ) 施設の保守・管理・点検・清掃等が適切に実施された。【10】	5	10	8	10	6	7.8
(エ) 所管課との密な連携が図られた。【10】	7	9	10	8	8	8.4
小 計	38	44	44	44	40	42.0
2 指定管理者の創意工夫	【配点15点】					
(ア) 駐車場管理運営の経験を活かし、利用者が利用しやすいよう、駐車場施設の改善が図られた。【5】	4	5	5	4	4	4.4
(イ) 地元企業であることを活かし、周辺施設・企業、地元住民と連携したPR活動を実施した。【5】	4	4	4	4	4	4.0
(ウ) 利用率向上のための提案がなされた。【5】	3	4	4	4	4	3.8
小 計	11	13	13	12	12	12.2
3 市民(利用者)のサービスの向上	【配点15点】					
(ア) 利用者の満足度調査において高い評価を受けた。【5】	2	4	3	4	3	3.2
(イ) 利用者の要望等に速やかに対応した。【5】	4	5	3	4	4	4.0
(ウ) 接客マナー改善指導を継続して行った。【5】	4	5	4	4	4	4.2
小 計	10	14	10	12	11	11.4
4 施設固有の評価項目	【配点20点】					
(ア) 収入・支出の経理等について、適切な取扱いがなされた。【10】	9	10	10	8	8	9.0
(イ) 周辺施設のイベント開催に合わせて集客努力を行った。【10】	7	10	8	8	8	8.2
小 計	16	20	18	16	16	17.2
合 計	75	91	85	84	79	82.8

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

年々収支が改善されており、指定管理者の努力がうかがわれる。強いて言えば、駐車場という性質上、創意工夫の余地は限られるものの、運営方針の1つに掲げる「地域活性化」の実現に向けて斬新な発想を期待したい。

【B評価委員】

現時点での管理運営上の大きな問題点はないと思われるが、将来的な施設改善や運営形態の見直しも含めて、指定管理者との情報共有・交換を綿密に行いつつ、再投資の計画を練ってほしい(アセット)。

【C評価委員】

事業計画・収入見込み(予算)については、概ね適正に実施されているが、利用者へのサービス向上利用促進における対応については、さらなる努力を要すると思う。結論としては、「良好な施設の運営状況」と評価する。

【D評価委員】

当該施設場所は、津波避難場所となっている。防災訓練は、管理者、スタッフ全員でする事のほか利用者にも意識した訓練が必要なのではないかと。

【E評価委員】

事業計画に示された事業では、建築基準法上の点検業務以外は履行されおり、周辺地域・施設との連携や意見交換なども実施し、更に利用者アンケートを行うなど利用者の生の声を施設管理に活かしていることは評価できる。

平成27年度から平成29年度は収入額より支出額が上回っているが、利用台数、収入は年々増加しており、平成30年度においては、利用台数は減であるものの、収入額が支出額を上回り変動納付金を納めることができたことも評価できる。

一方、人事異動による施設点検の失念は、組織として基本的なことであるから、しっかり取り組んでほしい。

近隣施設や駐車場内でのポスター、案内表示の掲示は評価できるものの、近隣施設を利用する人たを施設に向かう途中で駐車場へ誘導するサインの設置なども検討されたい。

評価委員会としての意見

駐車場及び自転車等駐車場について、適切に管理運営されていると評価でき、周辺施設等との意見交換や相互協力のもと、施設運営に取り組んでいることも伺える。

また、指定期間開始の平成27年度に比べ、収支状況も年々徐々にではあるが改善されて来ており、平成30年度には市に変動納付金を納める状況までになった。従って、全体として良好な施設の運営状況と判断する。

これからの課題として、利用者アンケートのサンプルの取り方の工夫、利用者増への施策や施設改善、災害時対策の強化などがあげられるほか、利用者サービス向上による利用促進や、近隣施設利用者の駐車場への誘導等を検討されたい。